

### III 研究の実際と考察

#### 1 検証授業計画

(1) 単元名 「現代の企業」

(2) 指導計画

①「エル・ドラード」への誘惑～東インド会社の発展… 1時間

②ベンチャー企業の挑戦…………… 1 "

③君もビル・ゲイツになれるか?～ベンチャー・ビジネス・コンテスト… 1 "

④株式市場のしくみ…………… 1 "

⑤ザ・ファンドマネージャー (検証1・検証2) …… 2 "

(3) 検証授業 1

①本時のねらい

シミュレーション・ゲームに組み込まれている企業の株価の推移を示すグラフやレーダーチャート、世界的な経済事象の情報などを取り出して、比較・分析・考察し、経済事象と株価の動きの関連性を捉える。

②学習過程

段階	学習内容・活動	時間	仮説との関連
導 入 把 握	1 前時の学習課題を確認する。 株式市場のしくみ	5	◎株価が変動していることに気付かせその要因を探ろうとする意欲が高められるよう配慮する。
	2 本時の学習課題 経済事象と株価の動きの関連を調べる		
展 開 課 題 解 決 開 適 用	◎パソコンの操作・ゲーム内容を知る。 ◎各班に分かれて行う。	35	◎パソコンの画面表示の中から、必要と思われる情報を印字したり、メモしたりして、主体的に情報の収集ができるようにする。  ◎集めた情報をもとに、各グループ内で検討することによって、株価が上昇(低下)する要因を具体的に把握させる。
	3 情報の収集を行う。 ・株価の動き ・銘柄別株価 ・日経平均 ・世界経済の動向		
	4 わからないことを調べる。 ・証券用語、世界経済の流れ		
	5 収集した情報を分析・考察する。 ・経済事象と株価の関係、変動予測		
6 次時のシミュレーションの方向性決定 ・運用資金、期間、運用益、投資銘柄	10	◎データ活用の重要性を理解させる。	
まとめ	7 本時のまとめと次時の内容確認	10	

(4) 検証授業 2

①本時のねらい

前時における、経済情報の収集・比較・分析・考察の成果を活用し、余剰資金を投入して株式の売買を行う擬似体験を通して株式投資の実際についての理解を深める。

②学習過程

段階	学習内容・活動	時間	仮説との関連
導 入 把 握	1 前時の学習課題を確認する。 経済事象と株価の動きの関連	5	◎少しでも収益が上がるように、競争意識を持たせることによって、シミュレーションへの興味・関心を持たせる。
	2 本時の学習課題 株式売買のシミュレーション、その結果をまとめ、発表する。  ◎各班に分かれて行う。進め方の確認		
展 開 課 題 解 決 開 適 用	3 シミュレーション・ゲームで株式売買 ◎前時にまとめた経済情報をもとに資金を運用し売買を進める。	40	◎情報をフルに活用して状況に合った判断ができるように配慮する。  ◎シミュレーション・ゲームを通して情報の収集・選択・処理・分析・考察が十分であったか、また、正しい意思決定を行うことができたか、考えさせる。
	4 データの処理を行う。 ・売買計算書、収益グラフ、売買一覧表		
	5 シミュレーションのまとめをする。 ◎成功(失敗)の原因を話し合う。		
	6 シミュレーション結果を発表する。		
まとめ	7 本時のまとめ	5	◎情報活用の有為性を理解させる。

#### 2 検証の観点

- (1) 生徒の主体的・積極的な姿勢を喚起するのにも有効であったか、授業での生徒の取り組みの様子や報告書の内容から分析する。
- (2) 生徒と教材との関わりを強めることにも有効であったか、事前・事後テストの分析から考察する。
- (3) 情報を主体的に活用して思考・判断する能力を高めるために有効であったか、報告書・事後アンケートの分析から考察する。